

寒暖差が激しい日々ですが、肌寒い日は「寒いしジャンパー着る」と自分で着用の判断をする子が増えてきました。着用方法も毎日の繰り返しで少しずつ自分で出来ることが増えてきていますよ。やりたい意欲と、「出来た！」の喜びを大切にしていきたいと思います。

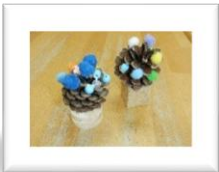
あきみちさんぽ

運動公園のライオンコースを散歩する中

で、友達と手を繋いで歩くのが上手になってきた子ども達は「きれい！」と秋色に染まった木々をたくさん見つけていました。競技場の横の道では、もみじ拾いを楽しみました。両手にいっぱいのもみじを拾い、「見て見て！」と嬉しそうに見せてくれたり、ふわつと上に投げておちばのシャワーも堪能！また、絵本『もりのてぶくろ』の内容を思い出し、もみじを見て「てぶくろ！」と、自分の手と合わせて「大きい！」「ぴったり！」と楽しむ姿もありました。絵本の内容が現実の世界とリンクすることに気付いた時の子ども達の表情は、とっても嬉しそうで、ワクワクが伝わってきます。そして、そのワクワクした気持ちが他者に伝わることも喜びに繋がります。今後も子ども達の気付きを大切に、思いに共感していきたいと思っています。



散歩で拾ったどんぐりやまつぼっくりを持ち帰り、砂場でどんぐりを料理の材料にしたり、たくさん手に取って宝物のように持ち歩いたり遊びに使用して楽しんでいきます。まつぼっくりでは、材料を使って何かを作る楽しさを感じられるよう、制作も楽しみました。ビーズやデコレーションボールなど小さな材料を指でつまみ、ボンドをつけてまつぼっくりにくっつけました。2歳児時期に、手や指を使った動きが上達し、より複雑な動作が出来るようになります。指先の力を使って小さな材料をつまむことも出来るようになります。思い思いに作り上げていましたよ！



ごっこ遊びは想像力や社会性、言語能力が育まれます。番頭さん役の子は丁寧な言葉遣いで話す姿がありますよ。生活や遊びの中で集団だからこそ「自分がやりたい！」「待てない！」という感情も生まれています。その都度、それぞれの思いを受け止めながら、順番を待つ、交代するという経験を繰り返し、相手への思いやりの心が育つよう、またひとつ子ども達の成長に繋がると見守り、仲立ちしていきたいと思っています。



『もりのおふろ』『パンダ銭湯』などお風呂に係る絵本を楽しんでいる中で、出てくるフレーズを言ったり、体を洗い合う動物たちの真似をして友達を背中を洗ったりと楽しむ姿がありました。「おふろ入りたいね」という思いから、たんぽぽ組に【おふろやさん】がオープン！券を番頭さんに渡してお風呂に行き、「どぼーん」と絵本のフレーズを言いながらお風呂に入ったり、シャワーの下で頭を洗ったりしています。また、鏡を見てくしで髪をかす姿もあり、その手つきから子ども達の観察力の凄さに感心しています。番頭さん役の子は法被を着て「こっちでーす」とお風呂の入口を案内したり、「はいどうぞ」と入浴後の牛乳を渡すなど役になりきり、お客さんとの言葉のやりとりも楽しんでいきます。

